

平成 21 年 7 月 1 日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
Morgan Stanley

三菱 UFJ フィナンシャル・グループとモルガン・スタンレーによる
戦略的アライアンスの強化に向けた合意について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 ^{くろやなぎ のぶお} 畔柳 信雄、以下 MUFG）と Morgan Stanley（会長兼 CEO John J. Mack、以下モルガン・スタンレー）は、戦略的アライアンスの強化に向けた第一弾として、今年 3 月に日本における両社の証券会社統合に関する覚書の締結を発表しましたが、これに続く第二弾として、本日、グローバル・ベースの新たな提携施策につき、以下のとおり合意いたしました。

1. 米州におけるコーポレートファイナンス業務の共同マーケティング会社設立

MUFG の子会社である三菱東京 UFJ 銀行とモルガン・スタンレーは、両社の共同出資により、モルガン・スタンレーMUFG ローン・パートナーズ (Morgan Stanley MUFG Loan Partners, LLC) を設立することで合意いたしました。

この新たな共同マーケティング会社を通じた両社の協働により、米国、カナダおよび中南米*の法人のお客さまに対して、コーポレートファイナンス業務や証券引受業務等に関する MUFG とモルガン・スタンレーの高い専門性を活かした最高水準の金融サービスを提供いたします。（*カナダおよび中南米は許認可取得を前提）

《新会社概要》

名称： モルガン・スタンレーMUFG ローン・パートナーズ
(英文名： Morgan Stanley MUFG Loan Partners, LLC)
登録上の所在地： Wilmington, County of New Castle, Delaware 19808, U.S.A.
資本金： 500,000 米ドル
(三菱東京 UFJ 銀行とモルガン・スタンレーが各々 50% 出資)

2. アジアならびに欧州、中東およびアフリカにおける協働の枠組みの構築

三菱東京 UFJ 銀行とモルガン・スタンレーは、アジア（ASEAN 加盟国、インド、オーストラリア、韓国、台湾、香港）ならびに欧州、中東およびアフリカにおける新たなビジネス機会創出を目指し、証券引受業務、シンジケート・ローン業務、デリバティブ業務等において、相互にお客さまを紹介する協働の枠組みを構築することに合意いたしました。これらの枠組みを活用することによって、両社のお客さまに対して、より豊富かつ先進的な商品・サービスを提供し幅広いニーズに的確に応えていくことを目指します。

3. コモディティ分野での提携

三菱東京 UFJ 銀行とモルガン・スタンレーの子会社であるモルガン・スタンレー・キャピタル・グループ（以下 MSCG）は、コモディティ関連取引に関し、三菱東京 UFJ 銀行のお客さまを MSCG へ紹介することが可能となるグローバル・コモディティ・リファーマル契約を締結いたしました。

お客さまや個別の資源開発プロジェクトにおけるコモディティ価格の変動リスクなどのヘッジ・ニーズが高度化するなか、この合意に基づき、三菱東京 UFJ 銀行の幅広い顧客基盤ならびにグローバルに強みのあるプロジェクトファイナンス業務と MSCG のコモディティ分野での競争力を最大限活用し、コモディティ関連業務に携わる三菱東京 UFJ 銀行のお客さまに対し、グローバル・マーケットにおいてより充実した付加価値の高い商品・サービスを提供することが可能となります。

4. 人材交流

MUFG とモルガン・スタンレーは、両社が有する業務上のベストプラクティスの共有を促進するため、人材交流の枠組みについて合意しました。この人材交流により、相互に異なる企業文化を有する相手方企業での勤務経験を通じて、業務知識・ノウハウの共有や人材育成を促進するとともに、両社の戦略的アライアンスの効果を高め、お客さまへのサービスの一層の向上を図ることを目指します。

なお、MUFG とモルガン・スタンレーは、卓越した金融サービスを共同でお客さまに提供するために、今後他の業務分野における協働の可能性を含めグローバルな戦略的アライアンス効果を最大限発揮すべく努めてまいります。

以 上